

ご自由にお持ち帰り下さい



南部病院・スワンクリニック **Swan** 広報誌スワン

2026年1~3月

冬号

今年も
地域と歩む医療を



あなたの願いが今年かないますように★

contents

- 新年のご挨拶
- 病院機能評価
- 全日本病院学会
- 栄養科だより
- クリニカルクラークシップ
- 研修医



謹賀
新年

新年のご挨拶

院長 小原 正和

新年あけましておめでとうございます。今年も地域の皆さまの健康を守るために、職員一同今まで以上の努力をしてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

コロナ禍にみまわれてから医療を取り巻く環境は年々悪化し、昨年発表された統計では、国立大学医学部附属病院の赤字が200億円に達し大学病院の存続すら危ぶまれております。また、公立病院の9割近くが赤字で、昨年度の赤字総額は4000億円に達し、民間病院も6割以上が赤字となる異常事態と言うニュースもありました。青森県の公立病院も9割が赤字で年々増え続けています。大学病院の赤字については医師の研究や教育だけでなく、働き方改革もからみ地域医療に多大な影響を与えております。当地域でも大学から派遣される医師が減少し診療科の縮小や医師不足を招いております。その影響で、当院も紹介先に困ることもあり、同時に、八戸地域の夜間救急にもしわ寄せが及んでおります。

当院の経営面では、幸いにもコロナ禍前に病院耐震化の建て替えを終えていたことで、今のところ何とか維持しております。しかしながら、働き方改革や諸物価の上昇、医療費抑制による収入減少、高齢化等、乗り越えていかなければいけないことが山積みですが、『地域医療の灯』を絶やさぬよう、これからも精一杯努力してまいります。

さて、そんななか昨年の新年の挨拶でも述べましたように、医療機能評価機構の受審が6月にありました。医療機能評価とは1995年に創設された機関で、受審希望病院を中心、公平な立場から有料で審査を行ってくれる機関で、「患者様の視点にたって良質な医療提供するための組織」「医療を提供する手順が整っているか」「患者様にとって信頼できる医療を確保出来ているか」「改善する課題はどこか」「経営や職員支援は」等を審査していただく組織です。病院の質の改善に役立つとともに、審査、認定に向け、職員一同が1つにまとまなければ認定に繋がらないと考え継続して受審しております。先日無事6回目の認定をいただきました。今回は「必要な患者に在宅などで継続した診療、ケアを実施している」が、4段階評価のうち優れていると判定されました。今まで行ってきた外来から入院、福祉サービス利用、在宅医療、看取りまでの医療から福祉サービス迄がスムーズに行えるシステムになっていることが評価されました。総合結果を踏まえ、良かったところは維持し、足りなかったところは改善し今後も患者様が安心して来院していただけるよう、5年後の次回受審に向けて、90近いチェック項目のさらなる改善に勤めていきたいと考えております。

最後になりましたが、今年が皆さんにとりまして良い年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

「病院機能評価」

6回目の認定証をいただきました



「病院機能評価」は日本医療機能評価機構による評価です

病院機能評価とは？



患者さんが安全で安心な医療が受けられるよう、病院の運営管理、医療の質を「日本医療機能評価機構」という第三者機関が、専門的に評価・認証する仕組みです。審査の結果、基準を満たしていると認められた病院が「病院機能評価認定病院」として認定されます。

認定期間は5年間で、更新するには5年に一度、受審する必要があり、当院では平成12年4月の初回認定から今年で、6回目の認定をいただきました。



この星の数は認定回数を表しています

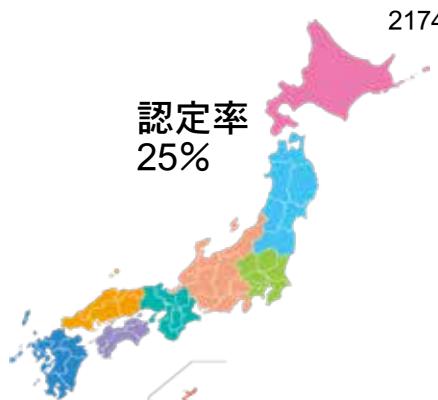
当院の受審歴

青森県内では
2番目に認定

認定期間	
第1回認定	平成12年4月17日～平成17年4月16日
第2回認定	平成17年4月17日～平成22年4月16日
第3回認定	平成22年4月17日～平成27年4月16日
第4回認定	平成27年4月17日～令和2年4月16日
第5回認定	令和2年4月17日～令和7年4月16日

公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

日本医療機能評価機構は、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的に設立された公益財団法人です。質の高い医療を実現するために、病院機能評価をはじめ、医療安全に関する教育研修、医療事故情報のデータベース、診療ガイドライン等の提供など、幅広い事業を実施しています。



全国の認定病院

(2025年12月現在)

全国の認定病院数
2,174

全国の病院数
8,139

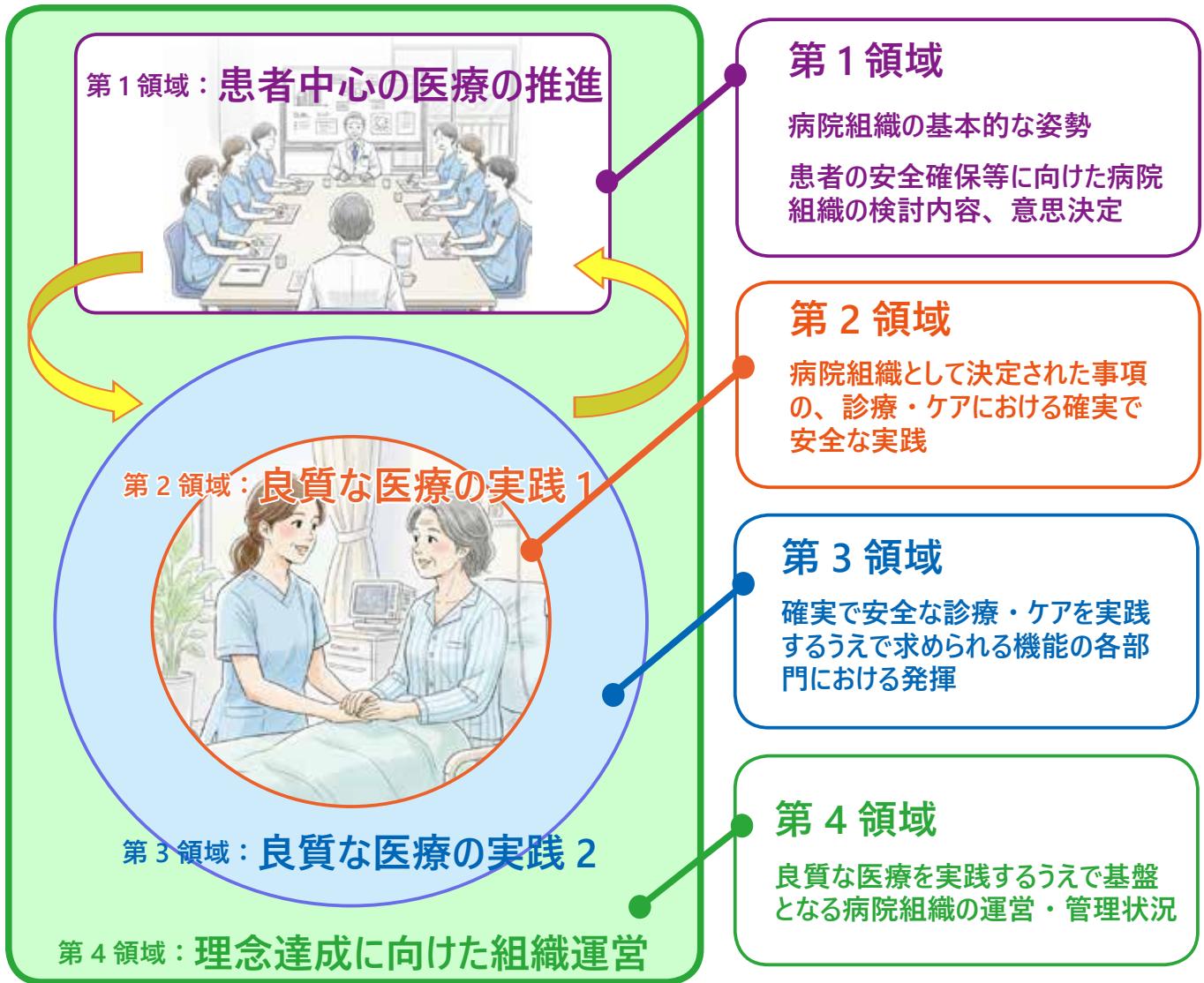
第三者的視点を大切に、
安全で質の高い医療を
目指しています



審査の領域

審査は書面審査と調査員が病院に訪問して行う実地調査の二段階で行われます。

患者さん主体の組織づくりや、適切な診療・治療の流れ、病院全体の運営体制など、4つの領域からなり、約90前後の評価項目があります。



評価の判定

各項目それぞれS・A・B・Cの4段階で評価されます。

- S評価：秀でた取り組みをしている
- A評価：適切に行われている
- B評価：一部課題はあるが一定の水準に達している
- C評価：一定の水準に達していない

※C評価が一つでもあれば認定されません。

つながる医療、続く安心 『継続した診療・ケア』で S 評価をいただきました

第2領域「必要な患者に在宅などで継続した診療・ケアを実施している」

特に評価されたポイント

1. 院内連携と在宅サービスの一体的な提供

- ・地域包括ケア病床を持ち、在宅療養支援病院として、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーションなどの居宅サービス事業を行い、在宅などで継続した診療、ケアを受けられるよう、入院中から退院後の生活までサポートしています。



訪問診療

2. 患者さんとご家族に寄り添った計画

- ・医師、看護師、リハビリテーション専門職、ソーシャルワーカー等が集まり、入院中の情報を共有した退院支援カンファレンスを開催し、患者さんとご家族の意向に沿った支援を行っています。



訪問リハビリテーション



患者・家族の意向確認



退院支援カンファレンス



関係者会議

3. 地域との連携

- ・患者さんが安心して退院後の生活を送れるよう、地域の医療機関、介護施設と密接に連携するなどサポート体制を築いています。
- ・関係する専門職が、退院前に患者さんのご自宅を訪問し、安心して生活できるよう環境を整えるお手伝いをします。
- ・介護保険などの社会福祉制度の活用を支援し、退院後の生活基盤をサポートします。



介護施設との連携



往診

4. その他

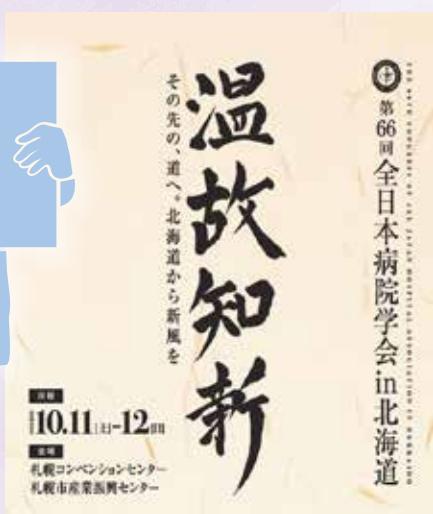
- ・看取りを希望される患者さん、家族に対し、最期までその人らしく生きられるように、訪問診療、往診を行っています。

これからも地域の皆さまが、住み慣れた場所で自分らしく、安心して生活を送れるよう、質の高い医療と温かいケアを提供できるよう努めてまいります。



第66回全日本病院学会in北海道

会期 2025年10月11日(土)・12日(日)



学会ポスター



会場…札幌コンベンションセンター ほか

当院から8名参加しました



会場前にて



会場の様子



当院からの発表

演題名 「褥瘡予防に向けた業務の効率化を目指して」

入院患者さんの8割は65歳以上の高齢者であり、疾患の多くは圧迫骨折や大腿骨骨折等の整形疾患が占め、疼痛軽減や患部の安静のため、一定期間の臥床安静が必要となります。疼痛や状態不良により、自力での体位交換が難しく、特に高齢者の場合は臥床期間が長引くことにより、褥瘡発生リスクが上昇することになります。褥瘡の対策の一つとして、適切なマットレス選びに着目し、次の取り組みを行いました。



主な取り組み

- ①各種マットレスの特徴を理解し、選び方を統一し、全スタッフで共有
- ②誰がどのマットレスを使っているかをすぐに確認できるシステムを導入（多職種連携）
- ③患者さんの状態に合わせてマットレスを柔軟に変更

主任看護師
田中 瞳美

入院早期から患者さんの状態に適したマットレスの検討、使用することで褥瘡予防につながりました。これからも褥瘡予防に努めていきたいと思います。



演題名 「リハビリテーションの一環として関わる退院支援～家屋評価について～」

治療のために安静を要した高齢患者さんにとって、入院前と同じ日常生活動作（食事、排泄、入浴、移動など）が困難な場合、自宅復帰を望んでいても、様々な背景により自宅復帰が難しくなります。その要因の一つとして病院と自宅環境の違いが挙げられます。リハビリテーション科では、主に整形外科（骨折など）で入院された患者さんが安全に自宅で生活できるよう家屋調査を行いサポートしています。

主な内容

- ①リハビリスタッフが自宅を訪問して生活環境を確認（家屋評価）。
- ②ケアマネジャー や福祉用具の専門家と一緒に訪問し、情報共有と環境調整の話し合いを促進。
- ③確認した自宅の状況に合わせて、実践的リハビリを実施。



作業療法士
小泉 真喜

リハビリスタッフが自宅へ家屋評価に出向くことで安全性、福祉用具活用における行動等を把握することができ多職種との環境調整業務が円滑となりました。今後も患者さんが望む自宅への退院支援に繋げて行きたいと思います。



『家屋評価』とは？

退院後の生活に様々な不安を抱える患者さんの自宅に、リハビリスタッフ、ケアマネージャー、福祉用具専門相談員がお伺いし、自宅で安全に過ごせるようにアドバイスすることです。

今後も継続的に学術活動を推進し、業務改善および職員の自己研鑽に励み、地域医療に貢献できるよう努めていきたいと思います。

栄養科より

栄養から免疫力アップ

寒くなり体調を崩しやすい季節です。体調を整えるためには、免疫力を高める栄養素をバランスよく摂ることが大切です。特にビタミン類・タンパク質・発酵食品などを日常の食事に取り入れることで、インフルエンザや風邪に負けない体づくりにつながります。

▶免疫力を高める栄養素と食品

ビタミン C



免疫細胞を活性化し、抗酸化作用で炎症を抑える

オレンジ、みかん、キウイ
イチゴ、ブロッコリー
赤ピーマン

ビタミン A



粘膜を保護し、
ウイルスの侵入を防ぐ

うなぎ、卵黄、緑黄色
野菜（にんじん、ほうれん草）

ビタミン D



免疫細胞の働きをサポートする。不足すると風邪をひきやすくなる

鮭、サンマ、
干ししいたけ、舞茸

ビタミン E



強力な抗酸化作用で
細胞を守り、免疫機能を改善

アーモンド、かぼちゃ
アボカド

タンパク質



免疫細胞や抗体の材料となる必須栄養素

肉、魚、卵
大豆製品（豆腐、納豆）

乳酸菌・発酵食品



腸内環境を整え、
免疫力を高める

ヨーグルト、納豆
漬物、味噌

ポリフェノール



抗酸化作用で体を守る

緑茶、赤ワイン、カカオ



▶ 食事の工夫と生活習慣

温かいスープや
鍋料理



体を温め、消化に
やさしく栄養補給

フルーツサラダや
野菜サラダ



ビタミン C を
効率よく摂取

発酵食品を
毎日少しづつ



腸内環境を整え、
免疫力を持続的に強化

規則正しい食事と
睡眠



栄養だけでなく
生活習慣も免疫力に直結

▶ おすすめメニュー 「麹入り野菜スープ」

麹を使ったスープは、発酵の力で腸内環境を整え、免疫力アップにもつながります。塩麹のやさしい旨味で、野菜の甘みが引き立ちます。

素材の旨みを引き出す
『魔法の万能調味料』

芯から温まる
『麹入り野菜スープ』

材料（4人分）

- 玉ねぎ … 1/2 個
- にんじん … 1/2 本
- キャベツ … 2 枚
- しめじ … 1/2 パック
- 鶏むね肉 … 100g
- 塩麹 … 大さじ 2
- 水 … 400ml
- オリーブオイル … 小さじ 1
- 黒こしょう … 少々

作り方

- 野菜と鶏肉を食べやすい大きさに切る。
- 鍋にオリーブオイルを熱し、玉ねぎ・にんじんを炒める。
- 水と鶏肉、しめじ、キャベツを加えて煮る。
- 火が通ったら塩麹を加え、味を整える。
- 黒こしょうを振って仕上げる。

【ココがコツ！】

塩麹は『お味噌と同じ』と覚えましょう。
火を通しすぎず、仕上げにサッと溶かし
入れるのが、美味しさと健康成分を
ダブルで活かす秘訣です！

2025年度 弘前大学医学部医学科 クリニカルクラブシップ

医学生の臨床実習



当院は弘前大学医学部と臨床実習に関する協定を締結し、指導医監督の下に、医学生が診療チームの一員に加わり、診療に参加させていただく「診療参加型実習」を実施しております。

8月に臨床実習を終えた方の感想をご紹介いたします。



指導医 副院長 三浦一朗



清水先生
他部署研修（放射線科）

実習生感想

実習で印象に残っていることは何ですか？



クーリーフによる治療により手術直後から患者さんが痛みなく歩けるようになる姿を見た。これまで人工関節置換術しか選択肢がなかった患者さんが15分程の手術でQOLを上げられるようになったことに医学の進歩の素晴らしさを実感しました。



他部署研修はどうでしたか？

これまで疾患そのものやその診断・治療については学んできましたが、リハビリや退院までのサポートなど知らない部分も多くあり、様々な職種の立場から学ぶ貴重な機会となりました。

2025年度 八戸赤十字病院 研修医「地域医療研修」

当院は八戸赤十字病院の「地域医療研修病院」に指定されており、医師になって2年目の研修医3名を受け入れました。

医局にて



長坂先生

手術の様子



佐々木先生

在宅医療



江口先生

実習へのご協力ありがとうございました

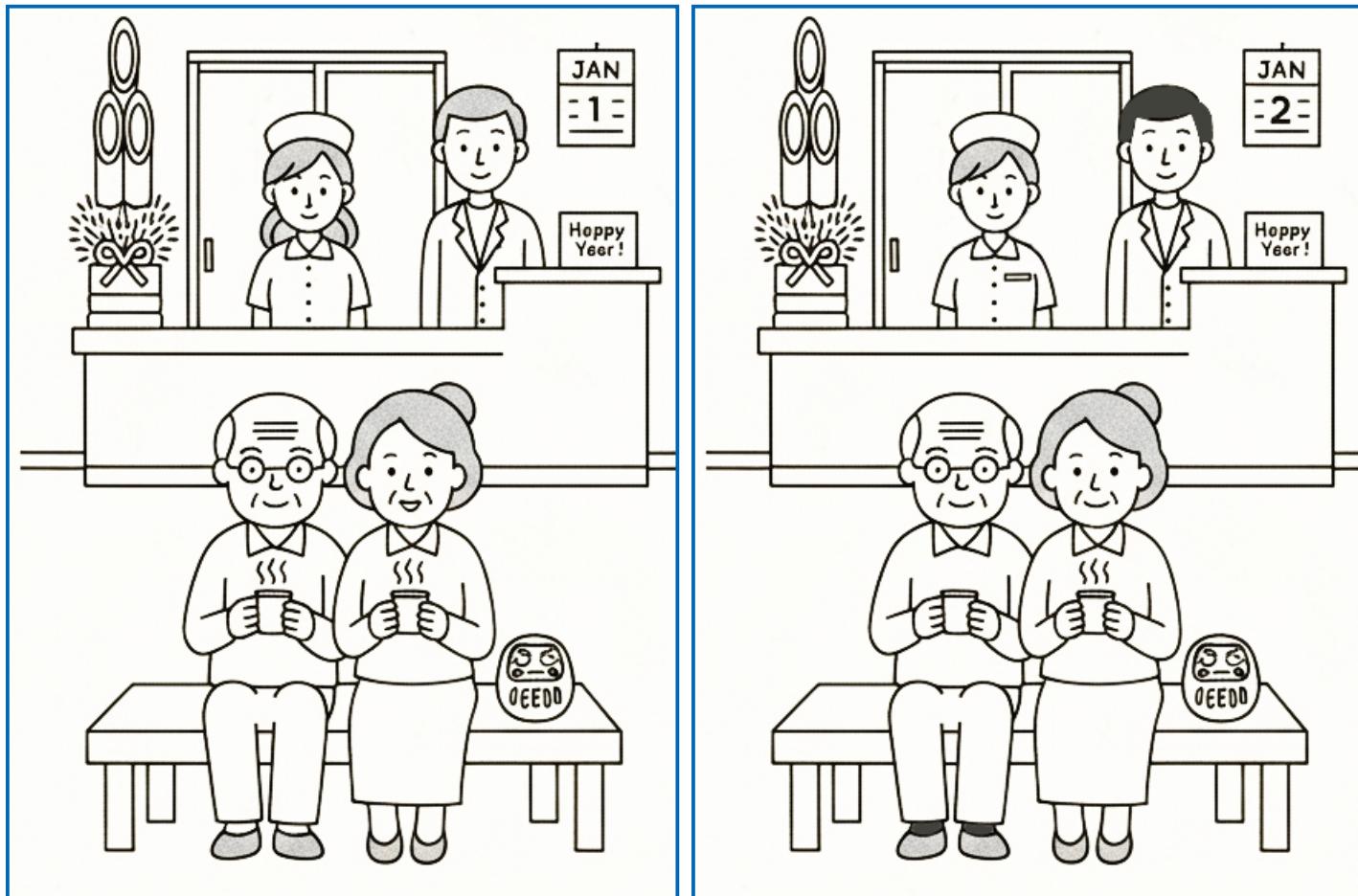
多くの患者さんに、診察と研修に快くご協力いただきました。医学生、研修医にとって、地域医療の重要性を深く認識できる貴重な機会を提供していただき、心より感謝申し上げます。今後も温かく見守っていただけますと幸いです。

三浦 一朗

ちょっと休憩

間違いさがし

左右の絵で違うところが
7個あります



①看護師の立場の変化 ②医師の立場の変化 ③医師の立場の変化 ④看護師の立場の変化 ⑤看護師の立場の変化 ⑥医師の立場の変化 ⑦看護師の立場の変化

当院の最新情報は Instagram でチェック!



休診や医師不在の
お知らせが便利です



よろしければ
ぜひフォローして下さいね



スワンクリニック・南部病院

Instagram

当院では、公式Instagramを開設し、
皆さんに役立つ情報を届けています。

広報誌では伝えきれない休診情報やイベントの
様子などを、写真や動画付きでわかりやすく
発信中です。ぜひご覧いただければと思います。



Instagram

スワンクリニック 診療時間のご案内



電話 0179-23-0805

〒 039-0105

青森県三戸郡南部町大字沖田面字千刈 37-1

スワンクリニック

自動受付機による受付時間

午前 7:30 ~ 11:00

午後 12:30 ~ 17:00



	8:30~11:00	月	火	水	木	金	土
午 前	整形外科①	小笠原和人	小笠原和人	小笠原和人	休 診	小笠原和人	小笠原和人
	整形外科②	三浦一朗	三浦一朗	三浦一朗		三浦一朗	三浦一朗
	整形外科③ 総合診療科	休診	10:00~ 穂元 崇	穂元 崇		10:00~ 穂元 崇	穂元 崇
	外科・内科	佐藤雅栄	休診	休診		休診	休診
	小児科 アレルギー科	小笠原奈緒子	小笠原奈緒子	小笠原奈緒子		小笠原奈緒子	休診
	14:00~17:00	月	火	水	木	金	土
午 後	整形外科	小笠原和人	三浦一朗 穂元 崇	休診	休 診	休診	休診
	内科	16:00まで 小向良昌	16:00まで 小向良昌	外 科・内 科 佐藤雅栄		16:00まで 三上信久	
	小児科 アレルギー科	休診	予約のみ 小笠原奈緒子	休診		小笠原奈緒子	



南部病院 診療時間のご案内

電話 0179-34-3131

〒 039-0105

青森県三戸郡南部町大字沖田面字千刈 52-2

【内科】 小原正和						
	月	火	水	木	金	土
8:30 ~ 11:00	○	○	○	休 診	○	休 診
14:00 ~ 16:00	訪問診察	○	○		○	
16:00 ~ 17:00	○	○	○		○	

【内科】 小向良昌						
	月	火	水	木	金	土
8:30 ~ 11:00	○	○	○	休 診	○	○
14:00 ~ 15:00					訪問 診察	休 診
15:00 ~ 17:00					○	

【外科・内科】 佐藤雅栄						
	月	火	水	木	金	土
8:30 ~ 11:00	休診	○	○	休 診	○	○
14:00 ~ 17:00	検査	訪問診察 検査	休診		手術	休診

【整形外科】 小笠原和人、三浦一朗、穂元 崇						
	月	火	水	木	金	土
8:30 ~ 11:00	検査・予約	検査・予約	検査・予約	休 診	検査・予約	検査・予約
14:00 ~ 17:00	予約外来 手術 (三浦一朗)	予約外来 手術 (小笠原和人)			手術	手術

【外科・内科】 小笠原 博						
	月	火	水	木	金	土
8:30 ~ 11:00	○	○	○	休	○	休

社会医療法人博進会 <https://nanbu-hp.or.jp>



南部病院
ホームページ



スワンクリニック
ホームページ



インスタグラム